

# 特定非営利活動法人LOOB JAPAN 2020年度 事業報告書



NPO法人LOOB JAPAN (現地法人Love Our Own Brethren Inc.)は、  
青少年が国を超えて友愛と奉仕の精神を育み、  
“持続可能な未来の創造に寄与する”  
ことをビジョンにフィリピンで活動している団体です。

日本事務局 特定非営利活動法人LOOB JAPAN

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目24-4 井川ビル2F  
ソーシャルビジネスラボ

フィリピン事務局 Love Our Own Brethren (LOOB) Inc.

Lot23 Block14 NHAI, Mandurriao, Iloilo City Philippines 5000

お問い合わせ: info@loobinc.com



## 1. LOOBの概況

私たちLOOBは、2001年にフィリピン・イロイロ市で非政府組織（NGO）として登録し、2014年8月には東京都に登記して草の根の支援活動を行ってきました。

「一方的な支援でなく、現地の人と共に学び成長する」をモットーに、国際ワークキャンプ、スタディツアー（研修事業）などを通じて、青少年育成とコミュニティ支援を実施しています。



### 活動地

日本国内およびフィリピン・イロイロ市を拠点に、貧困地域の公立学校およびコミュニティと連携し、活動しています。

### 都市貧困地区

ごみ処理場周辺コミュニティ、スラム、再定住区など

- Brgy. Calajunan, Manudurriao, Iloilo
- Brgy. Lanit, Jaro, Iloilo

### 地方貧困地区

雇用の機会が少なく、行政サービスが十分に  
行き届いてない漁村・農村エリア

- Brgy. Namocan, Tigbauan, Iloilo
- Brgy. Pughanan, Lambunao, Iloilo

## 2. LOOBの実施体制と重点課題

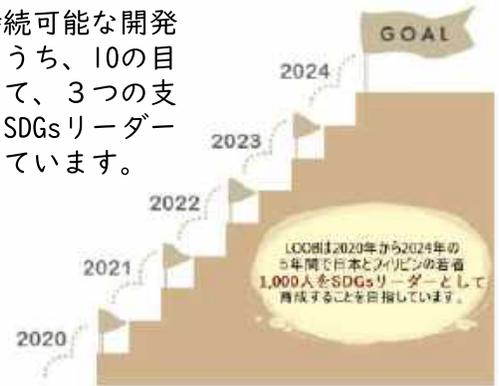
会員数83名（うち正会員25人、賛助会員23人、特定事業会員35人）

- ・日本：非専従職員2人、インターン14名、ボランティア20人
- ・フィリピン：専従職員5人、インターン10名、ボランティア20人

### SDGs 10の目標へのコミットメント

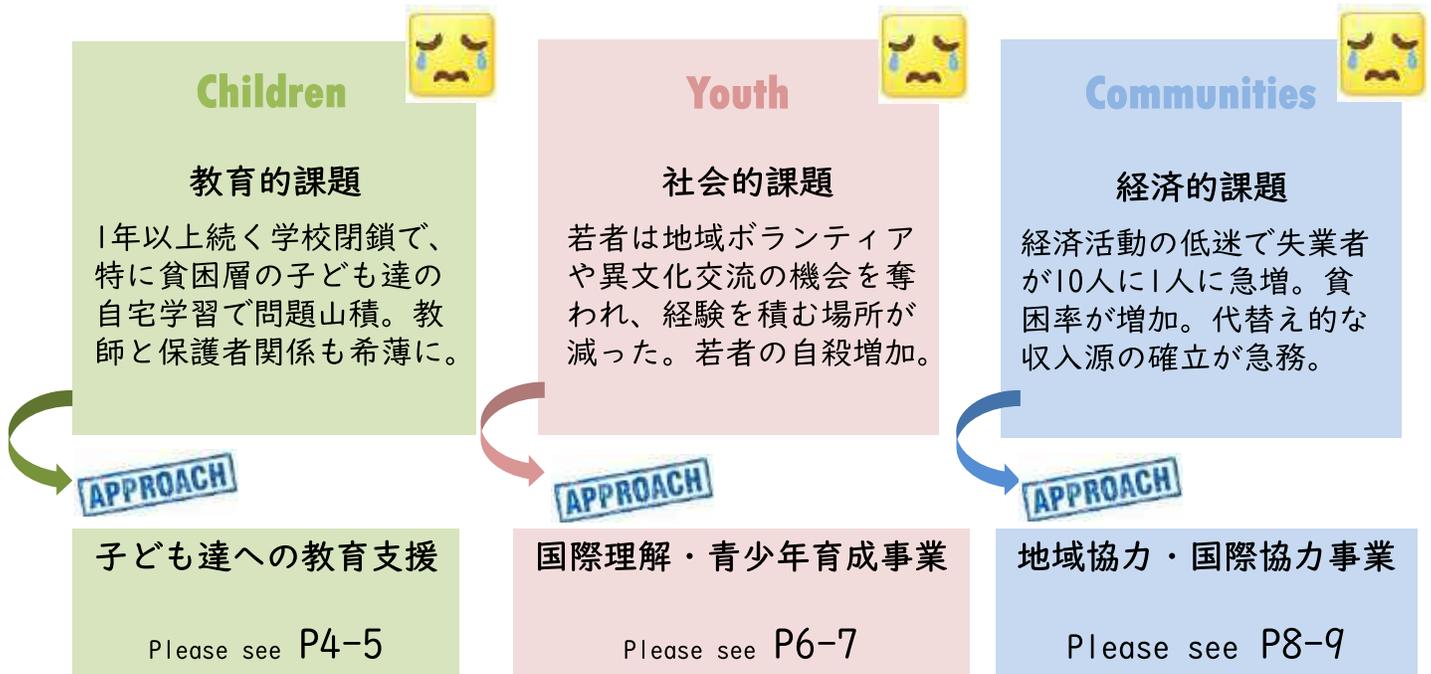


世界を変える持続可能な開発目標（SDGs）のうち、10の目標にコミットして、3つの支援事業を実施。SDGsリーダー育成を目標にしています。



### 2020年の重点課題

フィリピンでは新型コロナウイルス感染拡大抑制の観点から、世界的にも非常に厳しい活動制限措置が導入され子ども・青少年・貧困コミュニティでの課題が増加した。



### 3. 課題へのアプローチに関する報告

# 01

## Education for Children

途上国の子ども達への教育支援事業

### ① 低所得家庭への教育サポート

2020年度は小学校から高校生までの54名と大学生2名を支援しました。大学生の奨学生はカラファン村とラニット村から選出し、その地域の子ども達のメンターとしての役割を担っています。

56  
人

VOICE

#### スポンサー様

支援している子ども達と画面越しで直前お話しできて、とても良かった！ハロウィンの衣装が面白かったです。  
Sakamoto様

#### 校長先生

LOOBはいつも子ども達のために迅速かつ柔軟に対応してくれます。日本の皆様には本当に感謝です。

Mrs. Grace

#### 保護者

子ども2人がFJK小学校の児童です。自宅学習で分からないことがあればすぐ携帯電話で担任の先生と連絡ができました。

Nanay faith



2020年10月末の3日間で日本の教育サポート会員と子ども達のオンライン交流を初開催！



342  
世帯

### ② 小学校の遠隔授業サポート

コロナによりフィリピン全土で学校閉鎖となりました。LOOBではオンライン環境がなく、自宅でプリント学習を行うFJK公立小学校で、遠隔授業のサポートを実施しました。本プロジェクトはかめのり財団様の助成により実現しました。

- 小学校での手洗い場の設置
- 携帯ホットライン「AMLIG」設立
- コピー機提供



携帯ホットラインは342世帯の80%が利用し、児童からの質問対応のほか、プリント教材配布・回収に貢献しました。

### 3. 課題へのアプローチに関する報告

# 01

## Education for Children

途上国の子ども達への教育支援事業

### ③ 経産省『未来の教室』× すららネット オンライン授業開発実証事業

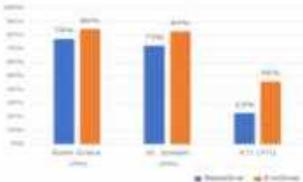
株式会社すららネット様からの委託事業で算数のEラーニング「Surala Ninja!」をイロイロ市の3つのパイロット校で計230人の小学生を対象に実施。ディスタンスラーニングのICT化促進、教師のPCリテラシー、設備の不足、生徒の学修意欲の低下などの課題に対し、教員研修、遠隔学習、コンテスト、Ed-Techシンポジウムを実施してアプローチしました。

230

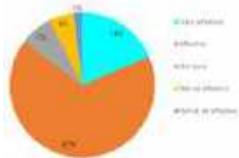
人

VOICE

特に低学力層の先住民コミュニティで四測計算の結果が2倍に！



85%の教員がSurala Ninja!の学習効果を認定。



イロイロ市にてEdTechシンポジウムでは実証事業活動成果の発表と小学校のデジタル教育推進について意見交換。学校関係者60名が参加。



#### Ati族リーダー

PCに触れる機会のない先住民にとっても良い機会だった。計算力が確かに伸びている。これからも続けて欲しい。

Pastor

#### パイロット校（教師）

アニメのキャラクターによるレクチャーが分かりやすく、算数嫌いの子ども達にもとても効果的だった。

Ferd先生

#### 体験者（生徒）

インドネシアとの算数コンテストに参加したのが楽しかった。今回は決勝に出れなかったので次回がんばりたい。

Tin

### 3. 課題へのアプローチに関する報告

# 02

## Experience for Youth

国際理解・青少年育成事業

#### ① SDGsアカデミア・オンライン学修プログラム

SDGs Academia Online Study Program

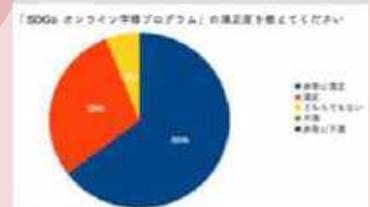
スタディツアーやワークキャンプが開催できなくなりましたが、現地の中高生リーダーおよびユーザーリーダーのファシリテーター研修を実施し、コロナ前にローンチしたSDGsアカデミアをオンライン化することに成功しました。



4月から12月までフィリピン側で35人のファシリテーターを育成。一方、日本から169人の高校生&大学生が異文化交流と学び合いの時間を持ちました。

169人

VOICE



満足度94%!

#### 参加者

SDGsをテーマに海外の同世代の人と英語で議論し、フィリピンの現状だけでなく、自国の社会問題を相対化できました。

大学生Ryo

537人

#### ②学校向けオンラインスタディツアー

Sustainable Tour and English Program

株式会社With the World様およびGreen International Technical College様との協働により、学校機関へのオンライン研修を実施し、17校、計537人の生徒にご参加頂きました。

- SDGs基礎ワークショップ
- 現地高校生リーダーとの交流
- バーチャルツアー

コロナ禍のフィリピン応援プログラムとしてフィリピン政府観光省からも後援を頂きました。

- 大阪学院大学
- 同志社大学新見ゼミ
- 同志社大学風間ゼミ
- 北見藤高等学校
- 八戸工業大学第二高等学校
- かえつ有明中・高等学校
- 明秀学園日立高等学校
- 広島学院中学校・高等学校
- 広島修道大学協創中学校高校
- 新渡戸文化学園
- 関西学院高等部
- 東北生協
- 東海大学仰星中学校
- 江戸川取手高校
- 洗足学園中学高等学校



### 3. 課題へのアプローチに関する報告

# 02

## Experience for Youth

国際理解・青少年育成事業

### ③ ACT SDGs様他のイベント登壇



# 11

回

## VOICE

#### 参加者

勉強会に参加し、ごみの問題は国を超えて繋がっていることがよく分かりました。

高校生Makoさん

#### ボランティア

動画制作に参加させて頂きました。素晴らしい映像でフィリピンのスタッフを誇りに思います！

大学生Rinaさん

#### 現地スタッフ

私もLOOBに入って初めてごみ山の存在を知りました。イロイロ市民にどんどん伝えてきたいです。

新スタッフJoy

### ④ 日本フィリピン未来共創プロジェクト

# 20

名

#### Advocacy Movie Making Project

スタディツアーに替わり、二国の若者が国を超えてオンラインで対話し、未来を共創するアイデアソン（アイデアのプレゼンテーション大会）を実施。グローバル社会が抱える廃棄物の課題を起点にアドボカシー映像を制作しました。本プロジェクトは、国際交流基金アジアセンター様の助成で実現しました。



YouTube.com  
日本・フィリピン未来共創プロジェクト『ごみ問題を考える』アドボカシー動画

アイデアソンに参加した20名のアイデアにより、イロイロ市民向けと日本人向けの2つのバージョンを作成。撮影は現地ユーススタッフと中高生リーダーが1週間かけて行いました。



### 3. 課題へのアプローチに関する報告

# 03 Empowerment for Community

地域協力・国際協力事業

## ① 新型コロナウイルス対策支援

LOOBでは3月20日から5月20日までのロックダウン中、スタッフの安全を考え、現場での活動を停止。外出規制が緩くなった6月以降、最貧困コミュニティ2地域での食糧支援や衛生キット配布のほか、女性のマスク制作、ごみ回収で1ペソをもらおうキャンペーンを実施、コミュニティ支援を継続しました。

710

世帯

VOICE

### 被益者から

一番助かったのはアルコール消毒液と石鹸です。衛生を保つため、大切に使います。

Zenaidaさん

### オーナー

日本の皆様に私が作ったカカオを楽しんで欲しいです。

Catherineさん

### 募金者

素敵な活動ですね！募金をした側も受け取った側もハッピーになれる魅力的な募金だなあと即決しました。

Iさん



## ② フェアトレード募金プロジェクト

172  
人

今年はコロナによりカレンダーを制作できなかったため、カカオ農家を支援するフィリピン人女性起業家Catherineさんの製品をリターン（返礼品）とする募金を立ち上げました。

3カ月で約42万円の募金を集めることができました。172人の個人様と下記5社のスポンサー企業にご協力頂きました！



### 3. 課題へのアプローチに関する報告

# 03 Empowerment for Community

地域協力・国際協力事業

## ③ フェアトレード推進事業

フェアトレード、プラごみ削減などサステナブルな消費行動（エシカル消費）を推進する活動で81名のご参加・応援を頂きました。



←10月には第1回SDGsライフスタイルフォーラムにてサステナブルセレクション「ニツ星」認定を受けました。 →

小中学生向けの『国谷裕子とチャレンジ！未来のためのSDGs』にLOOBの活動が掲載されました。



81人

VOICE

スタッフ

コロナ禍でもSDGsやエシカル推進に向け、ユース世代へのアンバサダーの役割を果たしました。

14人

## ④ 第2期国内インターン活動

2020年4月から1年間のメインインターン4名に加えて、10月から10名の大学生を加え、●英通訳 ●動画編集 ●広報の分野でNGO活動を体験してもらえました。

現地NGO LOOBのスタッフやインターン生と直接仕事をしたり、メインインターン生の独自企画で学生向けオンライン交流イベントを成功させました。その収益は現地の大学生奨学金に当てられます。



インターン第2期生の14名の皆さん、本当にお疲れ様でした！

インターン

大好きなイロイロ市のツアーを企画するのが楽しかったです！イベントで司会を務めたり、様々な経験ができて度胸がつけました！（N・D）

インターン

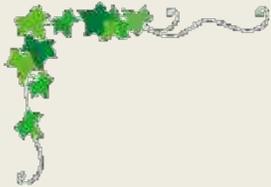
急な変化への対応力、オンラインで物事を進める力、そして自分と違うタイプの人と何かを作り上げる力を学びました！（K・T）

## 4. 会計報告

2020年度 NPO法人LOOB JAPAN 活動計算書（詳細は財務諸表をご覧ください）

- 資産の部：5,520,485円
- 負債の部：100,829円
- 総収入：11,784,975円
- 総支出：10,250,337円
  - うち管理費 2,007,450円（総支出の19.6%）
  - うち事業費 8,242,887円（総支出の80.4%）
    - ・途上国の子ども達への教育支援事業 3,912,179円
    - ・国際理解・青少年育成事業 1,958,738円
    - ・地域協力・国際協力事業 2,371,970円

- 管理費
- 子ども達への教育支援
- 国際理解・青少年育成
- 地域協力・国際協力



最後までお読み頂きましてありがとうございます！

コロナで通常の支援や交流活動ができなくなりましたが、  
LOOB卒業生から温かいサプライズのご支援を頂いたり  
オンラインで意思の高い高校生・大学生に出会えたり、  
いままでにない形で**LOOBの輪**を広げることができました。

世界的なパンデミックが一日も早く終わり  
皆がグローバルに活躍できる日が来ますように！  
これからも温かい応援をよろしくお願いいたします。  
(LOOBスタッフ・インターン一同)



フィリピンNGO LOOBのスタッフ



LOOB JAPANのスタッフ&インターン